

# 敦賀半島 - 湧水湿地 -



山ぎわにできた湧水湿地



山からの湧水が流れる休耕田

**選 定 理 由** ・県レッドデータブック掲載種（県RDB種）が多種確認されている

**県レッドデータブック掲載種数：** 31種（面積約380ha）

<b>自然の概要</b>	湧水がしみ出す山麓斜面は、モウセンゴケやノハナショウブの生育する湧水湿地になっています。また、休耕田に湧水が流れ込んで湿地が形成されている所にはハッチョウトンボが見られます。山ぎわの土手や畦などにはリンドウが生育しています。
<b>保全すべき主な環境</b>	湧水湿地、山田（湧水の流れ込む水田および休耕田） 草はら（リンドウの生育する草地）
<b>自然保護関係法の指定</b>	若狭湾国定公園（全域）、第二敦賀半島鳥獣保護区（一部）
<b>もっと詳しく知りたい人へ</b>	みどりのデータ・バンク総括報告書,p179-183[敦賀半島地区]

## 該当地の位置



## 里の生き物紹介 モウセンゴケ（モウセンゴケ科）

モウセンゴケは食虫植物として有名ですが、コケの仲間ではなく、花を咲かせて種子をつける植物です。粘液を出す毛が葉にたくさん生えており、くっついた昆虫を消化して栄養にします。日当たりの良い酸性湿地に生育しますが、このような湿地が開発されたり、園芸目的で採取されており、減少傾向にあります。

## 保全すべき環境に生息・生育している生物



ノハナショウブ  
県域絶滅危惧 類  
丘陵帯～山地帯の川辺や湖沼など日当たりのよい水湿地に生育



メダカ  
県域絶滅危惧 類  
池と沼、河川下流部の岸辺、水田とその用排水路に生息



ハッチョウトンボ  
要注目  
日当たりのよい湧き水のある湿地や休耕田に生息



モウセンゴケ  
要注目  
日当たりの良い酸性湿地に生育



リンドウ  
要注目  
山野の日当たりの良い草地に生育